

# 6月定例会

画定の定例会の内容をお知らせします。

## 6月定例会の流れ

- ①市長から議案の提案  
説明 6/12㊶
- ②委員会付託  
常任委員会に審査を付託 6/12㊶
- ③予算審査特別委員会  
補正予算 6/12㊶
- ④一般質問  
6/13㊶～6/20㊶
- ⑤予算審査特別委員会  
補正予算 6/22㊶
- ⑥常任委員会  
総務文教・市民福祉・  
建設環境委員会  
6/23㊶～6/27㊶
- ⑦委員長報告  
各常任委員会・予算審  
査特別委員会の審査結  
果報告 6/29㊶
- ⑧討論  
賛否を表明し議論を交  
わす 6/29㊶
- ⑨採決  
議案の可否を決定  
6/29㊶

令和5年度一般会計補正予算 3億1496万円を追加し

総額 293億8995万円

### 子育て応援食育推進事業費

食費等の物価高騰で家計に影響を受けている、中学生までの子育て世帯に対し、市産直施設で使用できる「子育て応援券」を1世帯あたり1万円分配布し、支援するための費用

7019万円



▲8月発行の子育て応援券綴り

### 環境保全事業費

(省エネ家電買替支援事業)

電力・ガスの価格高騰をふまえ、省エネ性能に優れた家電製品への買い替えに対し、補助金を交付する費用

3442万円

### 学校給食事業費

小・中学校に対し、

物価高騰による学校給食費の徴収金額を増加することなく、栄養バランスや量を保った学校給食を継続するための補助をする費用。また、市立幼稚園に対し、パンと牛乳の価格上昇分の補助を行い、保護者の負担を軽減する費用

3736万円



### 人事案件に同意

《固定資産評価員》

任期 同意後に任命を受けた日から  
谷口 由貴

### 陳情

国に対し、インボイス制度の延期・見直しを求める陳情書

インボイス制度を考えるフリーランスの会  
阿部 伸

全国霊感商法対策弁護士連絡会の不当な声明に対する陳情

基本的な人権と信教の自由を守る福岡県民の会  
江頭 一樹

### 意見書

小児用新型コロナウイルスワクチン接種における慎重な対応を求める意見書



賛成多数で可決  
提出者 山本 祐平  
賛成者 尾島 武弘  
佐伯 美保

消費税インボイス制度の延期・見直しを求める意見書



賛成多数で可決  
提出者 戸田 進一  
賛成者 石田 まなみ  
豆田 優子  
佐伯 美保  
山本 祐平  
岩下 豊

ふんちゃんを探せ！  
ふんちゃんクイズ



ヒントは、  
ページをめくって  
私を探してね。

- ①市議会の常任委員会の数は？
- ②次回定例会の閉会予定日は？
- ③6月定例会で一般質問をした人数は？

## 公民館条例の改正について 全員賛成で可決(付帯決議が提出され可決)

施設の老朽化によって宮司公民館の廃止決定をするため、本条例を改正する。

### 主な質疑

**問** 宮司公民館のホールは令和4年度は301日開館で約7000人の利用者がいるが、ホール廃止後の利用者代替施設は考えているか。

**答** 市内の既存の施設である、福岡体育センター、津屋崎体育センター、福岡武道館、津屋崎武道館を考えている。

**問** 宮司公民館廃止の説明会は、どのような方法で周知したのか。



▲宮司公民館とホール(体育館)

**答** 令和3年度から令和4年度の途中までに、1回でも利用されたことがある人に対して案内を郵送した。また、中央公民館および宮司公民館に説明会の案内を掲示した。

### 付帯決議

宮司公民館の廃止によって公民館と一体となっているホール(体育館)を分離、独立させ、体育館として条例を制定し、市が維持管理と運営を行い存続させること。

### 提案理由

- ①ホール(体育館)は色々なスポーツや多目的な利用ができる市民の施設として利用されており、利用者からの存続を望む声が多く聞かれている。
- ②宮司地域を始め、海岸通りの西福岡地区など広い地域で人口が増加している状況で災害が発生した場合の避難所が極端に少ない。耐震性が新基準であり、同施設の立地からみても災害発生時の避難所として利用できると思われる。



(総務文教委員会審査報告)

## 財産の取得について 賛成少数で否決(本会可決)

本会可決



▲新設小学校の建設予定地。委員会では否決だったが、本会では可決

新設小学校建設事業用地として財産を取得する。

### 主な質疑

**問** 1件未契約だがスケジュールに遅れは生じないか。

**答** 土地の取得に合意は得ている。手続さは進行しているため問題ない。

### 主な討論

**反対** 学校建設用地としては安全性確認が不十分で、保護者や市民への説明が不足している。

(総務文教委員会審査報告)



## 税条例の改正について 全員賛成で可決



▲森林環境譲与税の有効活用を

地方税法等の改正に伴い、森林環境税(国税)の賦課、徴収の改正が必要となったため。

### 主な質疑

**問** 年10000円の税金の徴収は、一括なのか分割なのか。

**答** 特別徴収では月割、普通徴収では年4回の分割になる。

**問** 令和4年度の森林環境譲与税の使い道は。

**答** 防風竹柵設置や修繕費、公園改修事業などに720万円が充当されている。

(市民福祉委員会審査報告)



## 学校現場のICT導入状況と活用実態を調査

ICT利活用の現状および課題と今後の展望について調査した。

### 調査結果

市では学校教育にICTのもつ特性を活かし、個に応じた指導と協働的な学びの充実を図っている。学習面では、タブレット端末をはじめICT機器はほぼ毎日使用されている。特に電子黒板機能付きプロジェクターによって、効果的な資料閲覧が可能となった。

また端末を用いてのアンケートや食育指導など用途は多岐にわたる。リテラシー教育では、ネットモラルや情報の客観的な見極めについて学習している。



▲活用の幅が広がるタブレット端末

教職員業務としては遠隔利用、情報共有、効率化、授業、ペーパーレス化に寄与し、コロナ禍では特に有用だった。教師支援のためにICT支援員を配置し、業務の負担軽減を図っている。

### 委員会の意見

ICT活用の幅が広がる一方で、様々な課題が見受けられた。まず費用面は、児童・生徒数増による追加整備が必要になる。修理・維持費やアプリケーション費用もあるが、特に更新は一度に多額の予算が必要となるため、計画的な更新と予算の確保が必要と考える。

運用面は、ルール構築や指導方法の研究、活用方法の共有などで各校に差がある。市全体で統一感をもって取り組むために、ビジョンや方針を示したガイドライン作成の検討を望む。

また健康面は、長時間使用によるネット依存、視力低下や運動不足を懸念する。十分な配慮と対策を検討すべきである。

### その他の調査項目

特別支援教育について



(総務文教委員会所管事務調査)

## 学童保育所の現状と課題を調査

本市は人口増加が著しく、児童数の増加と共働き世帯の急増によって、学童保育への受け入れと保育環境の改善を望む声が多くなっている。学童保育所の現状と課題を把握し、今後のあり方について調査した。

### 調査結果

市の学童保育所の利用人数は、総定員900人に対して、入所者と待機児童を合わせると1020人になり、ニーズに合っていない。低学年の受け入れを優先的に考慮しているため、4年生以上の高学年の待機児童の割合が多いことも課題である。

障がい児や見守りが必要な児童数も少なくない。



▲児童一人一人に安心して安全な放課後の生活を

保護者からの要望の中には、長期休みには開所時間を早めてほしいというものがある。

また学校の過密化に伴う校区外通学の導入によって、入所申請の手続きを重複して行うなど混乱が生じたため、改善が必要である。

現在の学童保育所の雇用形態は、市全体で常勤が17人、非常勤が83人である。当日の利用者の出席状況に応じて、必要とする人員配置を運営事業者がしている。

### 委員会の意見

学童保育所へのニーズは高まっているが、対応できていない部分もある。指導員や支援員の必要性に対応すべく、市独自の適正配置の検討や資質向上のため研修等を積極的に実施するよう努めるべきである。

また、指定管理者や委託事業者に任せるだけでなく、市は積極的に現場に関わり、子どもの育成と安全、保護者の安心をより一層高める必要がある。



(市民福祉委員会所管事務調査)

# 農業の現状と課題を調査

基幹産業である農業について、農業施設の保守およびため池の維持管理、ICT等を活用したスマート農業の取り組み、農業の担い手育成と新規就農者の確保への取り組みについて、現状と課題を調査した。

## 調査結果

用排水路やため池の現状は、施設の老朽化や農業者の高齢化、後継者不足による従事者数減少で、一部では保守点検および管理が不十分である。

スマート農業は、昨年度6軒のイチゴ農家がICT機器を導入。新規就農者でも短期間で高収益農業者となることが期待されるが、個人の費用が高額にな



▲後継者不足が心配される農業施設の維持管理

る等の課題がある。

また、新規就農者と親元就農者の数よりも、高齢化による離農者数が多いことが課題である。

## 委員会の意見

水路の浚渫やため池の管理、豪雨対策など、市は早急に調査および予算計上し、農業者の減少に備え、今後の管理方法等を協議すべきである。

スマート農業は、基盤整備や農地集約、技術開発を進め、収益高を確保する必要がある。

新規就農者の確保は、早急に全国の取り組みを調べ、攻めの姿勢で新規就農者の募集をすべきである。また、親元就農者への支援を見直し、担い手への補助を行い、後継者育成の促進を図っていくことが大切である。

農業を担うためには一定程度の収益が必要となるため、民間や関係団体との連携を図り、さらなる販路拡大と福津産品のブランド化が必要である。

## その他の調査項目

公共施設を活用した地域活性化について

(建設環境委員会所管事務調査)



## 賛否表

### 6月定例会

結果	議案名	議員名											※議長は表決に参加しません							
		高山 賢二	中村 清隆	米山 信	榎本 博	戸田 進一	豆田 優子	尾島 武弘	中村 晶代	石田 まなみ	秦 浩	福井 崇郎		佐伯 美保	倉元 敏徳	井手 忠信	岩下 豊	山本 祐平	中村 恵輔	大山 隆之
承認	承認第 1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
承認	承認第 2号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
承認	承認第 3号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意	同意第12号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
可決	議案第45号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
可決	議案第46号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
可決	議案第47号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
可決	議案第48号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
可決	議案第49号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
可決	議案第50号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
可決	発議第 4号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
可決	発議第 5号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○は賛成 ●は反対 一は欠席 \*は棄権

### 3月定例会

福津市議会だより73号(令和5年5月1日発行)で、誤りがありました。裏表紙の3月定例会賛否表の佐伯美保議員の賛否結果を次のとおり訂正しますとともに、深くお詫び申し上げます。

結果	議案名	議員名	
		佐伯	美保
可決	議案第 6号	令和5年度福津市一般会計予算について	(誤) 一(欠席) (正) ○(賛成)
可決	議案第 7号	令和5年度福津市国民健康保険事業特別会計予算について	(誤) 一(欠席) (正) ○(賛成)
可決	議案第 8号	令和5年度福津市後期高齢者医療事業特別会計予算について	(誤) 一(欠席) (正) ○(賛成)